



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名 DOWAホールディングス株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 5714 URL <http://www.dowa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 政雄

問合せ先責任者 (役職名) 企画・広報部門部長

(氏名) 吉井 出

TEL 03-6847-1106

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	93,270	△1.4	4,891	△51.5	3,928	△63.1	1,347	△79.3
23年3月期第1四半期	94,603	49.8	10,081	135.0	10,632	201.1	6,522	299.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,162百万円 (△63.7%) 23年3月期第1四半期 5,962百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.56	—
23年3月期第1四半期	22.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	325,562	113,304	32.5
23年3月期	340,161	113,785	31.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 105,872百万円 23年3月期 106,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	10.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	160,000	△11.6	5,700	△59.4	5,000	△65.7	2,000	△73.6	6.76
通期	360,000	△5.2	19,000	△17.1	20,000	△14.4	10,000	17.4	33.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	309,946,031 株	23年3月期	309,946,031 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	14,129,276 株	23年3月期	14,127,561 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	295,817,491 株	23年3月期1Q	295,825,384 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により生産活動が停滞するなど大きな影響を受けました。サプライチェーンの回復とともに徐々に経済活動は復旧していますが、電力問題や円高の進行などで景気が停滞する懸念もあり、厳しい状況が続いています。世界経済では、新興国の成長は続くもののインフレ懸念による金融引き締めや、欧州・米国の財政問題、金融問題が深刻化しており、予断を許さない状況であると考えられます。

当社グループの事業環境については、需要面では自動車関連製品が、東日本大震災の影響による国内自動車生産の減少により、落ち込みました。生産面では、震災の影響により製錬所の生産が一時的に減少しました。また、相場面では、金属価格が総じて高値圏で推移しましたが、為替は一段と円高が進行しました。

当社グループは、このような状況の中、引き続き生産性の向上を進めるとともに、市場ニーズの変化を捉え的確に対応してきました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比1%減の93,270百万円、営業利益は同51%減の4,891百万円、経常利益は同63%減の3,928百万円、四半期純利益は同79%減の1,347百万円となりました。

主要セグメントの状況は次のとおりです。

環境・リサイクル部門

廃棄物処理は、全体的に顧客の廃棄物排出量が伸び悩む中で集荷ネットワークを強化し増集荷・増処理を図りました。土壌浄化は、不動産取引が低調な中、新規浄化技術の導入や海外案件の受注に努めました。リサイクルでは家電や電子部品の回収が堅調に推移しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比22%増の22,030百万円、営業利益は同31%増の958百万円となりました。

製錬部門

金属価格については、歴史的な高値圏まで上昇した金・銀・銅をはじめ、亜鉛・鉛・インジウムなども前年同期より上昇しました。

震災の影響で、製錬所のうち小坂製錬㈱、秋田製錬㈱が操業を停止しました。4月初旬に操業を再開していますがこの影響で当期の金、銀、銅、亜鉛、インジウム等の生産量が減少しました。また、持分法適用会社の小名浜製錬㈱も操業を停止しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比26%減の36,841百万円、営業利益は前期に中間半製品の売却による一時的な収益があったこともあり、同76%減の1,172百万円となりました。

電子材料部門

パソコンや携帯電話などIT関連製品について市場ニーズの実現や、パワー半導体向けの窒化物半導体（HEMT）など新製品の上市や新規顧客の獲得に努めました。需要面では大きな落ち込みはなかったものの、顧客の罹災やサプライチェーンの混乱など、震災の影響を受け、半導体や機能材料の一部製品が減販となりました。一方、太陽電池向けの銀粉は生産能力の拡大により増販となりました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比42%増の24,786百万円、営業利益は同25%減の1,553百万円となりました。

金属加工部門

自動車向けなどの端子やコネクタに使われる伸銅品やめっき品は、国内自動車生産が震災の影響で減少したことを受け、販売量が減少しました。一方、産業機械向けのセラミックス基板は需要が比較的堅調に推移し、また歩留まりの向上や生産性の改善に努めました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比2%減の18,870百万円、営業利益は同58%減の808百万円となりました。

熱処理部門

熱処理加工では、生産効率の高い工場へのシフトを進めるなど生産体制の強化に取り組みましたが、国内自動車生産が震災の影響で減少したことを受け、受注が減少しました。工業炉は、海外での生産拡大に合わせて新炉の拡販やメンテナンス需要の掘り起こしに努め、売上を増加させました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比16%増の4,295百万円、営業利益は同7%減の250百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して14,599百万円減少し、325,562百万円となりました。流動資産で11,180百万円の減少、固定資産で3,418百万円の減少になります。

流動資産の減少は、現金及び預金が有利子負債の返済に充てたことにより7,435百万円減少したこと、前連結会計年度末に計上した受取手形及び売掛金を回収したことで、それらが6,919百万円減少したことによります。固定資産の減少は、主に所有している上場株式の時価が下落した結果、株式の時価評価により投資有価証券が3,739百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度と比較して14,118百万円減少し、212,258百万円となりました。これは主に有利子負債の返済と法人税等の支払によります。

純資産については、当第1四半期純利益を1,347百万円計上した一方で、配当金の支払により株主資本が1,658百万円減少しました。また、株式の時価評価、デリバティブ取引の時価評価などによりその他の包括利益累計額が688百万円増加しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から1.1%増加し32.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想については、現在のところ業績が想定した範囲内で推移しているため、平成23年5月17日に公表した見通しの変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,231	9,796
受取手形及び売掛金	55,484	48,565
商品及び製品	16,021	25,379
仕掛品	3,980	4,967
原材料及び貯蔵品	59,790	52,572
繰延税金資産	6,605	6,025
その他	8,755	9,062
貸倒引当金	△416	△95
流動資産合計	167,453	156,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	88,581	89,501
減価償却累計額	△47,535	△48,433
建物及び構築物(純額)	41,045	41,067
機械装置及び運搬具	184,381	186,711
減価償却累計額	△150,614	△153,423
機械装置及び運搬具(純額)	33,766	33,287
土地	22,275	22,300
建設仮勘定	5,052	5,617
その他	11,756	12,096
減価償却累計額	△9,795	△10,004
その他(純額)	1,961	2,091
有形固定資産合計	104,101	104,365
無形固定資産		
のれん	6,506	6,381
その他	1,593	1,853
無形固定資産合計	8,099	8,235
投資その他の資産		
投資有価証券	52,315	48,576
長期貸付金	223	268
繰延税金資産	5,542	5,429
その他	2,629	2,540
貸倒引当金	△204	△126
投資その他の資産合計	60,506	56,688
固定資産合計	172,708	169,289
資産合計	340,161	325,562

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,367	31,710
短期借入金	54,290	52,710
未払法人税等	2,732	834
未払消費税等	2,156	583
引当金		
賞与引当金	2,831	1,499
役員賞与引当金	158	3
引当金計	2,989	1,503
その他	28,695	26,857
流動負債合計	124,232	114,199
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	73,829	68,578
繰延税金負債	1,888	2,315
引当金		
退職給付引当金	10,637	10,737
役員退職慰労引当金	517	501
その他の引当金	537	509
引当金計	11,691	11,748
その他	4,734	5,416
固定負債合計	102,143	98,058
負債合計	226,376	212,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,437	36,437
資本剰余金	26,362	26,362
利益剰余金	48,152	46,494
自己株式	△5,763	△5,764
株主資本合計	105,188	103,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,024	3,878
繰延ヘッジ損益	△865	591
為替換算調整勘定	△2,504	△2,127
その他の包括利益累計額合計	1,654	2,343
少数株主持分	6,942	7,431
純資産合計	113,785	113,304
負債純資産合計	340,161	325,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	94,603	93,270
売上原価	77,859	81,682
売上総利益	16,743	11,587
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	794	684
販売手数料	137	117
役員報酬	374	375
給料及び手当	1,108	1,180
福利厚生費	391	394
賞与引当金繰入額	421	433
退職給付費用	106	107
役員退職慰労引当金繰入額	48	42
賃借料	180	180
租税公課	240	225
旅費及び交通費	317	313
減価償却費	171	172
開発研究費	1,057	1,114
のれん償却額	132	125
その他	1,180	1,227
販売費及び一般管理費合計	6,662	6,696
営業利益	10,081	4,891
営業外収益		
受取利息	35	29
受取配当金	379	323
持分法による投資利益	725	—
その他	505	559
営業外収益合計	1,646	911
営業外費用		
支払利息	596	510
為替差損	4	105
持分法による投資損失	—	911
その他	494	347
営業外費用合計	1,095	1,874
経常利益	10,632	3,928

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
特別利益		
補助金収入	—	342
固定資産売却益	3	6
投資有価証券売却益	38	—
貸倒引当金戻入額	32	—
その他	11	42
特別利益合計	86	391
特別損失		
災害による損失	—	607
固定資産除却損	53	166
減損損失	—	25
環境対策費	—	12
固定資産売却損	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80	—
投資有価証券評価損	14	—
貸倒引当金繰入額	4	—
その他	83	269
特別損失合計	235	1,084
税金等調整前四半期純利益	10,483	3,235
法人税、住民税及び事業税	1,232	631
法人税等調整額	1,940	1,131
法人税等合計	3,172	1,763
少数株主損益調整前四半期純利益	7,310	1,471
少数株主利益	787	123
四半期純利益	6,522	1,347

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,310	1,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,704	△1,191
繰延ヘッジ損益	△142	1,457
為替換算調整勘定	△25	37
持分法適用会社に対する持分相当額	524	387
その他の包括利益合計	△1,348	691
四半期包括利益	5,962	2,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,177	2,036
少数株主に係る四半期包括利益	784	126

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	11,254	43,026	17,032	19,166	3,715	94,195	408	94,603	—	94,603
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,866	6,778	453	11	0	14,109	2,052	16,162	△16,162	—
計	18,120	49,804	17,485	19,178	3,715	108,304	2,461	110,765	△16,162	94,603
セグメント利益	730	4,902	2,062	1,924	270	9,890	79	9,969	111	10,081

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務などを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額111百万円には、未実現利益の実現額80百万円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	13,147	33,013	23,740	18,858	4,295	93,056	214	93,270	—	93,270
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,883	3,827	1,045	11	0	13,768	1,564	15,332	△15,332	—
計	22,030	36,841	24,786	18,870	4,295	106,824	1,779	108,603	△15,332	93,270
セグメント利益又は 損失(△)	958	1,172	1,553	808	250	4,744	△32	4,711	179	4,891

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、主にグループ間取引を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額179百万円には、セグメント間取引消去額199百万円及び未実現利益の調整額△19百万円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。